

コメント提供者

(一社) 日本老年学的評価研究機構 (JAGES機構) 事務局長 藤並 祐馬

コメント

「おかやまケンコー大作戦」では、第三者評価を担当しました。「おかやまケンコー大作戦」は SIB の成果指標だけではなく、「市民の健康増進」という大局的な観点からも幅広く評価を行った点が特徴的だと考えられます。

「おかやまケンコー大作戦」としての評価としては、「プログラムへの参加人数」「継続参加者数」(参加者の)「生活習慣改善意識」「健康状態の改善」を指標として評価を実施しました。一方で、医療費や社会参加頻度など、様々なアウトカムを用いた分析も実施しました。これにより、例えば参加者は非参加者に比べて事業を実施していた 3 年間の総医療費において 198,010 円低いこと (事業開始前年は年間の医療費総額に大きな差がないことを確認) や、運動習慣を維持・改善されている方が多いことなどが分かりました。加えて、中学校区ごとのポイント付与施設数の違いや、ポイント獲得の傾向などを把握し、今後同様の事業を行う際に参考となる情報を得ることができました。

成果指標を評価するためにはデータが必要ですが、集めたデータを成果指標の評価だけに使うのではなく、健康増進施策への活用もできたことは、求められている Evidence Based Policy Making (EBPM、根拠に基づく政策形成) 推進の上でも意義が大きいと思います。

本事業に係る報告等 (別ウィンドウで開きます)

[岡山市 S I B 事業「おかやまケンコー大作戦」の第三者評価を実施](#)